



第 12 号

～ サレジオ会宣教ニュース ～

2009 年 12 月 11 日

- ・ 宣教師の模範、ジョヴァンニ・カリエロ
- ・ 2009 年 12 月 サレジオ会の宣教の意向
- ・ ドン・ボスコからカリエロ司教へ：愛、忍耐、慈愛、貧しさ！
- ・ 若者の救いのために 1000 人のカリエロを！

## 宣教師の模範、ジョヴァンニ・カリエロ！

宣教師の皆さん、サレジオ・ミッションの友人の皆さん、  
2009 年最後のカリエロ 11 です。発行、執筆、デザイン、翻訳、配布など、本号のために貢献してくださった皆さんに心から感謝します！ カリエロ 11 はその誕生以来、多くの実りをもたらしました。引きつづき忍耐と堅忍をもって、すべてのサレジオ会共同体に届けていきたいと思えます。宣教の火を生かし続けるために。今や、多くの管区が、毎月 11 日を宣教促進の日、主のみ前ですべての宣教師と共に集う日としています。

1875 年 11 月 11 日に派遣された最初の宣教団を率いたカリエロは、私たちのニュースレターの「保護者」に選ばれました。しかもこの 2009 年、サレジオ会創立 150 周年を祝う私たちは、1859 年 12 月 18 日にドン・ボスコと共に神に人生を捧げた 18 人の若者たちの中にも彼の名を見いだします。

本号では、ドン・ボスコの手紙に浮かび上がるジョヴァンニ・カリエロの姿を見たいと思えます。また、カリエロの魅力に捕らえられたコオペラトリーの会員の手紙もあります。こういった資料は、12 月 18 日の修道誓願更新のため、宣教的な側面における準備になるでしょう。

私が出会ったすべての宣教師、2009 年に訪問したすべての宣教地のために、また連絡を取り合っている宣教促進管区担当者の皆さんを思い起こしながら、主に心からの感謝を捧げます。

宣教顧問 ヴァツラフ・クレメンテ神父



## 若者の救いのために 1000 人のカリエロを！

毎月のニュースレター「カリエロ 11」を楽しみにして、いつも大きな関心をもって読んでいます。

私はドン・カリエロのファンなので、彼に注目が置かれるのが嬉しいです。ドン・ボスコの生涯と精神を見ていくと、サレジオ家族の草創期の重要な時、ジョヴァンニ・カリエロはいつもドン・ボスコの陰にいたことがわかります。

カリエロはドメニコ・サビオと遊びました。1859 年、彼はミケーレ・ルアと共に、最初のサレジオ会員のグループの中にいました。カリエロの母はマンマ・マルゲリータを助けるため、ドン・ルアの母と共にヴァルドッコに住み込みました。彼はドン・ボスコの傍らで、無条件の忠実さをもって生きました。ドン・ボスコの夢を実現するため、惜しみない熱意をもってヨーロッパ、そしてラテン・アメリカで働きました。

カリエロはモルネーゼでは扶助者聖母会の最初の霊的指導者でした。マリア・ドメニカ・マザレロが 1881 年に亡くなったとき、臨終の世話をしました。彼は音楽家でもありました。ラウラ・ピクーニャに堅信の秘跡を授けました。彼は（1875 年から）アルゼンチンで一生懸命働くすべての宣教師たちを支えました。教皇へのサレジオ会員の献身を証し、アメリカ大陸における外交問題の解決のために教皇に仕えました。彼は最初のサレジオ会司教、そして枢機卿になりました。

彼はなぜ、サレジオ家族の中であまり知られておらず、大切にされていないのでしょうか。私は今、彼の時が来たのではないかと思います。サレジオ家族の世界的な使命のため、地球規模のビジョンが必要だからです。そのビジョンを、カリエロはドン・ボスコ自身から受け取ったのだと私たちは考えます。

残念ながら、カリエロ枢機卿の伝記はフランス語では出ていません。またイタリア語版は 70 年以上前に書かれたものばかりです。スペイン語版はどうか知りません。私の夢は、彼の伝記をフランス語で書くことです。ドン・チャーベスが指摘したように、「サレジオ家族を若者の救いのために働く人々の幅広い運動にする」ために、何千人ものカリエロが必要だということを、示したいのです。

サレジアニ・コオペラトリー、元ベルギー南コーディネーター ルネ・ダシー

## ドン・ボスコからカリエロ司教へ、宣教のための助言：愛、忍耐、慈愛、貧しさ！

親愛なるカリエロ司教様

あなたからの手紙は、大きな喜びをくれました。いくら視力が弱ってはいますが、あなたが私から譲り受けたと言うその筆跡、先生の元のスタイルよりもひどくなっているその筆跡にも関わらず、最初から最後まで読みたいと思いました！ 管理運営上のことはほかの人が返事をしますが、私からは、起きていることを報告しましょう。

布教聖省や「聖なる少年期のみわざ」に書き送るときは、さまざまな時期にサレジオ会が行ってきたことをすべて記してください。……

ドン・コスタマーニャあての手紙を準備しています。そしてあなたの参考のためには、特にサレジオ会精神について触れたいと思います。アメリカ大陸の各支部に導入したいと私たちが願っている精神です。

愛、忍耐、慈愛。相手が屈辱を感じるような叱責をせず、決して罰することなく、できるかぎり皆に善を行い、誰に対しても悪を行わないように。このことは、サレジオ会員同士の、また生徒たち、そのほかの人々、外部や内部にいる人たちとの関係においてです。われわれのシスターたちとの関係においてはたくさんの忍耐を用いてください、しかしシスターたちが会憲会則を厳密に遵守するように。

一般に、困難にぶつかったとき、私たちは助けるためにあらゆる犠牲を惜しみません。しかし、厳密に私たち自身が使うために必要なもの以外、建てたり取得したりしないよう、皆に勧告してください。再び売るためだけに、ただ利益を上げるために、決して物を、土地、資産、建物を購入してはいけません。

次のようにして私たちを助けるようにしてください。シスターたちのためにも、サレジオ会のためにも、召命が得られるよう、できるだけのことをしてください。しかし、仕事を引き受けすぎではありません。たくさん求めすぎる人は何も達成できず、すべてを台無しにします。

エスピノーザ大司教やほかの方々と話す機会があったら伝えてください。私は全面的にお仕えします、特にローマでの事柄に関して。

姪のロジーナに、健康に気をつけて、そして天国だけが唯一の目標であることを理解するように伝えてください。必ずそこへ行くように、しかも彼女の救った多くの靈魂と共に行くようにと伝えてください。

神がわがサレジオ会員である息子たち、わが扶助者聖母会のシスターたちを祝福してくださいように。皆に健康、聖性、天への道における堅忍を下さいますように。私たちは、朝に夕に、マリアの祭壇であなたがたのために祈ります。あなたがたは、この半分目の見えなくなった貧しい者のために祈ってください。私はイエス・キリストにおいていつもあなたたちと共にいます。

1885年8月6日 トリノ

あなたの親しい友

ジョヴァンニ・ボスコ神父

追伸：数知れない人たちがあなたによるしくと、あいさつを送っています。



## 2009年12月 サレジオ会の宣教の意向



南米サウスコーン地域（チリ、アルゼンチン、ウルグアイ、パラグアイ、ブラジル）のサレジオ会員たちが、特に最も貧しい若者たちの中でキリストの弟子、宣教師となりますように。貧しさの中から、ヨーロッパの教会のための召命が生まれるよう祈ります。



アメリカ大陸の教会は、すべての人の救いであるキリストとの親しい出会いに呼ばれています。家庭の宣教師、教育 - 学校、職場における宣教師、そしてすべての民へと派遣される宣教師となるよう、主は呼んでおられます。彼らがかつて助けられ、キリストと出会うことができたように、サウスコーンのサレジオ会員は、貧しさの中からヨーロッパのために新しい召命を与えるよう、今呼ばれています。